

公益財団法人 福岡県産業・科学技術振興財団

I 法人の概要 (平成 27 年 4 月 1 日現在)

- 1 所在地 福岡市早良区百道浜 3-8-33
- 2 設立年月日 平成元年 11 月 1 日
- 3 代表者 理事長 梶山 千里
- 4 基本財産 200,000 千円 (基本財産取崩し前 2,503,208 千円)
- 5 北九州市の出捐金 29,323 千円 (基本財産取崩し前額 2,503,208 千円に対する出捐の割合 1.2%)
- 6 役員員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	14 人	0 人	0 人	14 人
常 勤	1 人	0 人	0 人	1 人
非常勤	13 人	0 人	0 人	13 人
職 員	75 人	0 人	0 人	75 人

II 平成 26 年度事業実績

公益財団法人福岡県産業・科学技術振興財団 (ふくおか I S T) は、福岡県の産業構造の転換や地域経済の活性化を目的に、平成元年 11 月 1 日に県の出捐により設立し、基礎研究から応用研究、実用化研究までを一貫して支援するとともに、それら研究成果の展開による地域産業の活性化を目指し、活動を展開してきた。

《各事業の概要》

1 産学官連携・研究開発事業

コーディネーターを活用し企業ニーズと大学や研究機関等の優れた研究シーズのマッチングに積極的に取り組むとともに、国事業等を活用して新技術・新製品に繋がる産学官共同研究プロジェクトを実施した。

また、具体的な研究成果の発表会や展示会を通じて、企業の事業化への展開を図った。

- (1) 産学コーディネートプログラム (コーディネート活動：359 件、提案：40 件)
- (2) I S T 研究開発 F S 事業：5 課題
- (3) 国からの受託事業：戦略的基盤技術高度化支援事業 (九州経済産業局)

2 有機光エレクトロニクス関連事業

有機光エレクトロニクス研究分野の産業化を図るため、基礎研究を行う九州大学 O P E R A との連携関係を基に、有機光エレクトロニクス実用化開発センターを平成 25 年 4 月に開設した。

- (1) 企業との共同・受託研究：12 件
- (2) 国等公募事業：1 件
- (3) 有機光エレクトロニクス産業化研究会：2 回開催 (参加者数延べ 189 人)
- (4) 有機光エレクトロニクス勉強会：1 回開催 (参加企業 9 企業)

3 先端半導体関連事業 (先端半導体開発拠点化の推進)

(1) 研究開発・製品化支援

- ① 文部科学省補助事業の実施：地域イノベーション戦略支援プログラム
- ② 科学技術振興機構（J S T）委託事業：研究成果展開事業（スーパークラスタープログラム）
- ③ その他研究開発の実績：戦略的基盤技術高度化支援事業

(2) 人材育成

半導体開発の人材育成を目指し、広範な大学・企業からの講師陣により実践的な教育を実施した。

- ① システム L S I 設計技術者養成講座
- ② 組み込みソフトウェア設計技術者養成講座
- ③ 半導体実装技術者養成講座
- ④ パワー半導体関連人材育成講座

(3) ベンチャー育成・支援

インキュベーション施設の充実、設計開発センター等による設計開発支援、開発資金支援を柱に半導体ベンチャーの育成に注力した。

- ① 先端半導体設計センターの活用・運営
 - ・システム L S I 設計試作センター利用時間：13,654 時間
 - ・地域資金による製品開発支援事業

（県内中小企業・ベンチャーの「売れる」先端半導体製品開発支援事業）：5 件

- ② 三次元半導体研究センターの活用・運営
- ③ 社会システム実証センターの活用・運営

4 R u b y ・コンテンツ関連事業

福岡県 R u b y ・コンテンツ産業振興センターを中核施設として、日本人が開発した世界一生産性の高いプログラミング言語 R u b y によるソフトウェア産業の育成とゲームをはじめとしたコンテンツ産業の振興の 2 つのプロジェクトを強力に推進するとともに、研究開発、人材育成、ベンチャー育成支援、県内企業の交流・連携など総合的な取り組みを行い、R u b y 関連企業やコンテンツ産業の集積促進を図った。

Ⅲ 平成 26 年度決算

1 貸借対照表(総括表)

平成 27 年 3 月 31 日現在

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産	441,909,418	465,260,517	▲ 23,351,099
普通預金	185,365,245	251,093,760	▲ 65,728,515
未収金	237,826,569	206,482,513	31,344,056
未収利息	156,164	2,475,944	▲ 2,319,780
前払金	18,561,440	5,208,300	13,353,140
2 固定資産	3,642,672,526	5,170,111,779	▲ 1,527,439,253
(1) 基本財産	200,000,000	2,503,208,000	▲ 2,303,208,000
有価証券	200,000,000	2,503,208,000	▲ 2,303,208,000
(2) 特定資産	55,068,786	92,780,535	▲ 37,711,749
敷金特定預金	15,099,036	14,702,025	397,011
出資金(株式)	15,000,000	15,000,000	0
出資金(ファンド)	24,969,750	63,078,510	▲ 38,108,760
(3) その他の固定資産	3,387,603,740	2,574,123,244	813,480,496
建物	1,116,607,923	1,140,726,661	▲ 24,118,738
建物附属設備	849,340,192	846,093,848	3,246,344
構築物	189,719,351	93,461,874	96,257,477
備品	399,131,007	460,365,789	▲ 61,234,782
無形固定資産	22,305,266	19,475,071	2,830,195
求償権	14,000,000	14,000,000	0
投資有価証券	796,500,001	1	796,500,000
資産合計	4,084,581,944	5,635,372,296	▲ 1,550,790,352
II 負債の部			
1 流動負債	309,975,964	448,866,694	▲ 138,890,730
未払金	137,256,559	140,034,886	▲ 2,778,327
前受金	25,853,991	6,246,098	19,607,893
預り金	7,865,414	10,585,710	▲ 2,720,296
短期借入金	139,000,000	292,000,000	▲ 153,000,000
2 固定負債	1,047,409,976	298,503,755	748,906,221
預り敷金	15,099,036	14,702,025	397,011
求償権償却引当金	14,000,000	14,000,000	0
長期借入金	265,664,940	269,801,730	▲ 4,136,790
長期未払金	752,646,000	0	752,646,000
負債合計	1,357,385,940	747,370,449	610,015,491
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	200,000,000	2,503,208,000	▲ 2,303,208,000
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(2,503,208,000)	(▲ 2,303,208,000)
2 一般正味財産	2,527,196,004	2,384,793,847	142,402,157
正味財産合計	2,727,196,004	4,888,001,847	▲ 2,160,805,843
負債及び正味財産合計	4,084,581,944	5,635,372,296	▲ 1,550,790,352

2 正味財産増減計算書

自 平成 26 年 4 月 1 日

至 平成 27 年 3 月 31 日 (単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
経常収益	1,328,029,086	1,194,693,347	133,335,739
経常費用	1,569,662,660	1,563,016,103	6,646,557
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 241,633,574	▲ 368,322,756	126,689,182
特定資産評価損益等	▲ 33,971,970	▲ 24,187,050	▲ 9,784,920
評価損益等計	▲ 33,971,970	▲ 24,187,050	▲ 9,784,920
当期経常増減額	▲ 275,605,544	▲ 392,509,806	116,904,262
2 経常外増減の部			
経常外収益	431,476,868	17,500,000	413,976,868
経常外費用	13,469,167	11,867,291	1,601,876
当期経常外増減額	418,007,701	5,632,709	412,374,992
当期一般正味財産増減額	142,402,157	▲ 386,877,097	529,279,254
一般正味財産期首残高	2,384,793,847	2,771,670,944	▲ 386,877,097
一般正味財産期末残高	2,527,196,004	2,384,793,847	142,402,157
II 指定正味財産増減の部			
基本財産取崩額	2,303,208,000	0	2,303,208,000
当期指定正味財産増減額	▲ 2,303,208,000	0	▲ 2,303,208,000
指定正味財産期首残高	2,503,208,000	2,503,208,000	0
指定正味財産期末残高	200,000,000	2,503,208,000	▲ 2,303,208,000
III 正味財産期末残高	2,727,196,004	4,888,001,847	▲ 2,160,805,843

IV 平成 27 年度事業計画

産学官連携・研究開発事業では、産学官連携による研究開発プロジェクトを立ち上げ、実用化を目指した研究開発を支援することによって、新技術・新製品の創出を図り、地域産業の振興を目指す。

有機光エレクトロニクス関連事業では、九州大学 O P E R A をはじめ、北部九州に立地する 4 拠点による広域連携体の組織力を活かし、基礎研究 (O P E R A) から応用研究 (I S I T (福岡市))、実用化開発研究 (i 3 - O P E R A) や製造装置開発研究 (P h o e n i c s (熊本県)) まで、実用化に向けた効率的な取り組みを図る。

先端半導体関連事業では、産業界、大学、行政で組織する「福岡先端システム L S I 開発拠点推進会議」を推進母体として「シリコンシーベルト福岡プロジェクト (S S B プロジェクト)」の推進を支援する。

R u b y ・コンテンツ関連事業では、福岡県 R u b y ・コンテンツ産業振興センターがバックアップすることで、研究開発、人材育成、ベンチャー育成支援、県内企業の交流・連携など総合的な取組を推進し、R u b y 関連企業や、コンテンツ産業の集積促進を図る。

V 平成 27 年度予算

1 収支予算書

自 平成 27 年 4 月 1 日

至 平成 28 年 3 月 31 日 (単位：円)

科 目	公益目的事業会計	その他会計	法人会計
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	11,583,000	0	12,917,000
事業収益	439,666,000	0	10,000,000
受取補助金等	743,878,000	0	0
受取負担金	41,400,000	0	0
雑収益	0	0	0
他会計等繰入金	0	0	0
経常収益計	1,236,527,000	0	22,917,000
(2) 経常費用			
事業費	1,675,183,000	0	0
管理費	0	0	23,610,000
他会計等繰出金	0	0	0
経常費用計	1,675,183,000	0	23,610,000
評価損益等調整前	▲ 438,656,000	0	▲ 693,000
当期経常増減額	▲ 438,656,000	0	▲ 693,000
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	▲ 438,656,000	0	▲ 693,000

VI 役員名簿

平成 27 年 4 月 1 日現在

役員の種類	氏 名	所 属
理 事 長	梶 山 千 里	公立大学法人福岡女子大学理事長（兼）学長
専 務 理 事	塚 元 憲 郎	（公財）福岡県産業・科学技術振興財団専務理事
理 事	水 口 啓	九州ベンチャーパートナーズ(株)代表取締役
〃	西 平 博 利	（公財）九州先端科学技術研究所専務理事
〃	佐 藤 恵 和	（公財）北九州産業学術推進機構専務理事
〃	福 澤 信 義	（公財）飯塚研究開発機構専務理事
〃	中 島 公 明	（株）久留米リサーチ・パーク代表取締役専務
〃	村 上 英 治	（一財）九州産業技術センター常務理事
〃	齊 藤 三	（独）中小企業基盤整備機構九州本部長
〃	今 村 修 二	福岡県商工部長
〃	神 谷 昌 秀	福岡県工業技術センター所長
〃	大 川 博 己	北九州市産業経済局企業立地・食ブランド推進担当理事
〃	合 野 弘 一	福岡市経済観光文化局理事
監 事	野 下 邦 夫	福岡県監査法人代表社員公認会計士